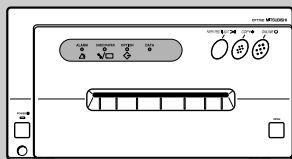


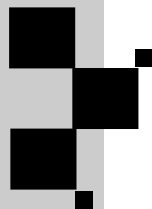
mitsubishi

三菱デジタルカラープリンタ
形名

CP770D 取扱説明書



このたびは三菱デジタルカラープリンタをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとききっとお役に立ちます。



この取扱説明書は自然保護のためエコマーク認定の再生紙を使用しています。



DIGITAL COLOR PRINTER

特長

目的に応じて3種類の印画サイズに対応

LLサイズ(150mmx104.8mm)、Lサイズ(130mmx104.8mm)、Sサイズ(104.8mmx75mm)の3種類の印画サイズが選べます。

高速プリント

プリントペーパーにはロール紙を採用し、給紙、排紙の時間を大幅に削減することにより、Sサイズで約19秒の超高速でプリントすることができます。

大量プリント

1ロールあたりのプリント枚数はSサイズで200枚ですので、ペーパー、インクシートの交換頻度が大幅に減り、非常に効率的です。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調約1670万色のフルカラー高精細プリントが可能です。

325PPIの高解像度

画像データを鮮明に再現する325PPIの高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像も驚くほどシャープに美しくプリントします。

用途広がるマルチプリント、ワイドプリント機能

4画面および16画面分割のマルチプリントやワイドプリントが可能です。用途に合わせてプリント画面数やサイズが選択できます。

各種インターフェイスと多様なシステムに対応できる付加機能

- (1)IEEE1284対応セントロニクスインターフェイスによる高速データ転送。
- (2)SCSI IIインターフェイスの制御信号入出力。
- (3)新開発ドライバーによりPC内処理時間の短縮。
- (4)従来の機種CP700DA(DSA)との互換性。

特長	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4 ~ 7
使用上のお願い	8 ~ 9
開梱	10
各部の名称とはたらき	11 ~ 12
前面	11
プリンティングユニット内部	12
後面	12
コンピュータとの接続	13 ~ 18
パラレルデータインターフェイスとの接続	13 ~ 14
パラレルデータ入力端子信号配置	15 ~ 17
SCSI信号機器との接続	18
ご使用前の準備	19 ~ 24
プリント用紙とインクシートの種類	19
プリンティングユニット固定ネジ・保護クッションのはずしかた	19
プリント用紙の入れかた	20 ~ 21
インクシートの入れかた(カラープリント)	22
プリント用紙の取扱い	23
プリンタードライバーのインストールについて	24
トラブルシューティング	25 ~ 27
前面インジケータの表示と処置	25
紙づまりの処置	26
サービスをお申しつけの前に	27
クリーニングについて	28 ~ 29
仕様・別売品	30 ~ 31

安全のために必ず守ること


誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 必ずアース線を取り付けてください
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	


製品のイラストは参考例ですので、お買い上げの機種により、形状が異なる場合があります。また、お買い上げの機種には、該当しない説明も含まれています。



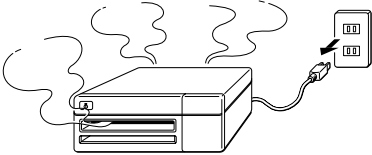

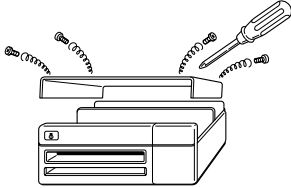

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

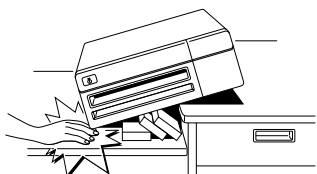


プラグを抜く

<p>煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!</p> <div style="text-align: center;">   <p>使用禁止</p> </div> <p>異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。</p>	<p>キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない</p> <div style="text-align: center;">   <p>分解禁止</p> </div> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。</p>
--	--

警告

不安定な場所には置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

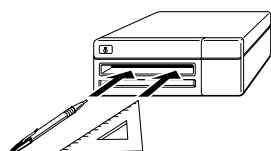


使用禁止

火災や感電の原因となります。

内部に異物を入れない

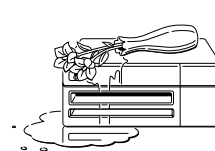
特にお子様にご注意を



禁止

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

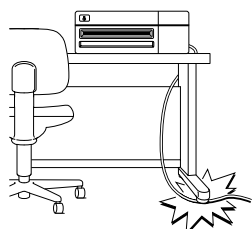


水ぬれ禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

重いものをのせない 引っ張らない ねじらない
無理に曲げない 加熱しない 加工しない

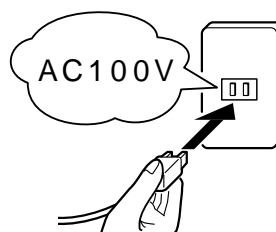


禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。

電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

正しい電源電圧(交流100V)で使う



交流100V

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。

付属のACプラグ2P変換アダプタを使用するときは確実に接地する



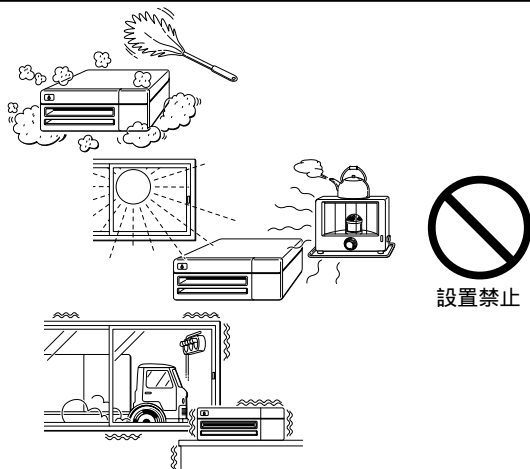
確実に接地する

確実に接地せずに使用すると、感電、火災、故障の原因となります。また、アース線と異電極との接触などにより、感電、火災、故障の原因となります。

⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 風通しの悪い狭い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
- 硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
- 振動がある場所



このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- テーブルクロスなどをかけない



禁止

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

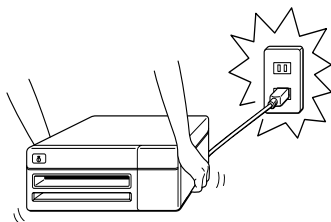
特にお子様にご注意を



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

接続したまま本機を移動させない

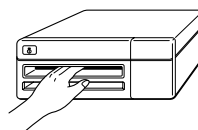


禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。

プリント用紙排出口に手を入れない

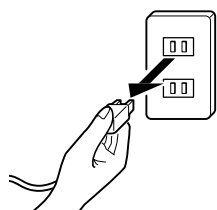
特に小さなお子様にご注意を



禁止

プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。

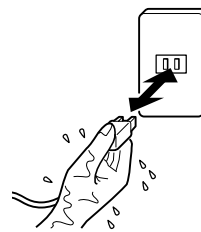
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

 <h1 style="display: inline;">注意</h1>	
<p>プリンティングユニットを引き出したままにしない</p> <div style="text-align: center;">  禁止 </div> <p>ユニットを引き出したまま本機を動かすと、ユニットが引き戻され、けがや故障の原因となることがあります。</p>	<p>プリンティングユニットは確実に押し込んで閉じる</p> <div style="text-align: center;">  禁止 </div> <p>本機を動かしたときに、ユニットが引き出され、けがや故障の原因となることがあります。</p>
<p>本機内部のサーマルヘッドには触れない</p> <div style="text-align: center;">  接触禁止 </div> <p>高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。</p>	<p>紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない</p> <div style="text-align: center;">  接触禁止 </div> <p>内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。</p>
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく</p> <div style="text-align: center;">  プラグを抜く </div> <p>安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う</p> <div style="text-align: center;">  プラグを抜く </div> <p>安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>
<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する</p> <div style="text-align: center;">  ほこりを取る </div> <p>ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。 1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。</p>	<p>5年に一度は内部の掃除を依頼する</p> <div style="text-align: center;">  内部掃除 </div> <p>販売店にご依頼ください。 内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。</p>
<p>日本国内専用です</p> <div style="text-align: center;">  日本専用 </div> <p>信号方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。 This DIGITAL COLOR PRINTER set can not be used in foreign country as designed for Japan only.</p>	

使用上のお願い

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)</p> <p>露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。</p> <p>プリント用紙が装着されているときは、取り出ししてから電源を入れてください。</p> <p>露付きは次のようなときに起こります。</p> <ul style="list-style-type: none">・部屋を急激に暖房したとき・エアコンなどの冷風を直接当てたとき・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき <p>露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。</p>	<p>接続機器、接続ケーブル</p> <p>本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。</p> <p>接続ケーブルは指定のものをご使用ください。</p>
<p>置き場所、取扱い</p> <p>水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。</p> <p>殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p> <p>周囲温度は5 ~ 40 (プリカットシール紙使用時は5 ~ 35)、湿度は20% ~ 80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。</p> <p>本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。</p> <p>プリンティングユニットを引き出したときは、ユニットを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。</p>	<p>プリント中は</p> <p>本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。</p> <p>プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。</p> <p>プリント用紙、シートカートリッジ</p> <p>プリント終了後、ペーパーが紙出口に出てきたら、そのままにしておかず1枚ずつ取り出してください。そのままにしておくと紙づまりの原因となります。</p> <p>プリント用紙やシートカートリッジに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。</p> <p>電源を切るときは</p> <p>プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。</p>

<p>お手入れ</p> <p>前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。</p> <p>汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。</p> <p>ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。</p>	<p>サーマルヘッドの磨耗と交換</p> <p>サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。</p> <p>サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。</p>
<p>引っ越しや輸送のときは</p> <p>シートカートリッジおよびペーパーカセット内のプリント用紙を取り出し、保護クッションを入れてから梱包してください。</p> <p>プリンティングユニットを固定できる機種の場合は、梱包前に輸送用固定ネジでプリンティングユニットを固定してください。</p>	<p>著作権</p> <p>ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。</p>

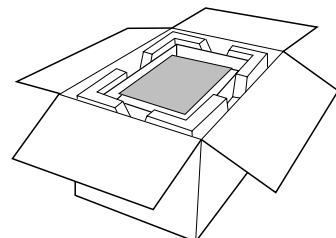
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

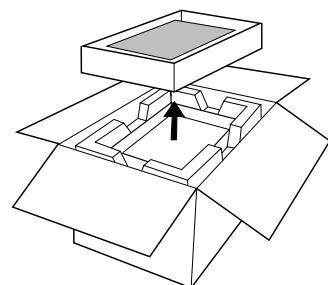
開梱

プリンタは下記の手順で箱から取り出してください。同梱品はそろっているが、あわせて確認してください。

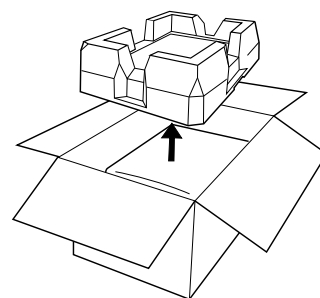
1 箱を開けます。



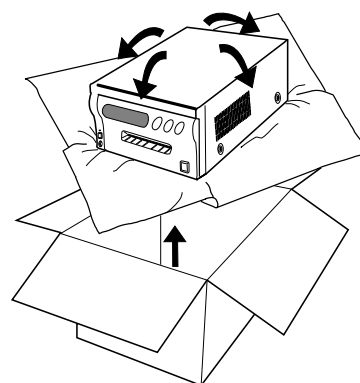
2 同梱品の入った箱（アクセサリボックス）を取り出します。



3 プリンタの上のクッションを取り出します。

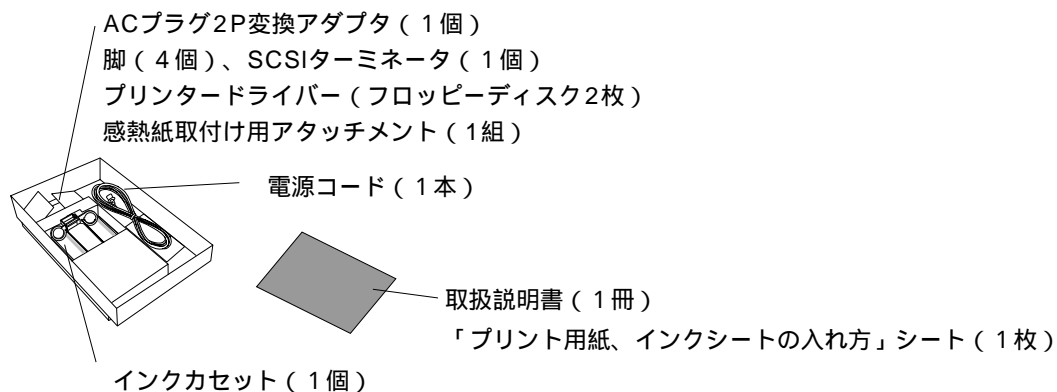


4 プリンタを取り出します。
水平に取り出してください。



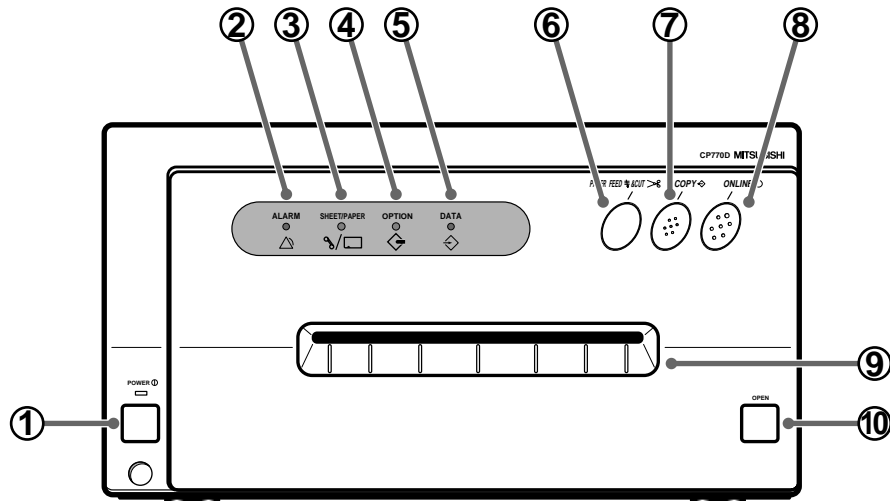
■ アクセサリボックス

同梱品が入っています。内容を確認してください。



各部の名称とはたらき

前面



- ① POWER ボタン**
 電源のON/OFFに使用します。
 ボタンを押すたびにON /OFFが切り替わります。
 電源が入ると、ボタン上部のインジケータが点灯します。

- ② ALARM インジケータ**
 本機がオーバーヒートしたときに点滅します。また、その他のエラーが生じたときにインジケータが点灯します。25ページをごらんください。

- ③ SHEET/PAPER インジケータ**
 インクシートまたはプリント用紙に関するエラーが起こったときインジケータが点灯します。

- ④ OPTION インジケータ**
 SCSI端子からの入力状態のときインジケータが点灯します。

- ⑤ DATA インジケータ**
 データ転送中にインジケータが点滅します。

- ⑥ PAPER FEED & CUT ボタン**
 このボタンを押すと、プリント用紙が一定幅送り出された後、切断されます。
 ⑧ON LINE ボタン上のランプが点灯しているときは、このボタンは無効となります。

- ⑦ COPY ボタン**
 このボタンを押すと本機に転送されたデータがもう一度コピー・プリントされます。
 ⑧ON LINE ボタン上のランプが点灯しているときは、このボタンは無効となります。

- ⑧ ON LINE ボタン**
 このボタンを押して、オンライン/オフラインを切り換えます。オンライン状態にすると、接続しているコンピュータから本機をコントロールできます。オンライン状態ではボタン上のランプが点灯します。
 もう一度このボタンを押すとオフライン状態(ランプ消灯)になります。

- ⑨ プリント出口**
 プリントされた用紙の出口です。

- ⑩ OPEN ボタン**
 押すとプリンティングユニット全体が押し出されます。プリンティングユニットはインクカセットやプリント用紙を入れるとき、または紙づまりの処理をするときに引き出します。

安全・お願い

各部の名称

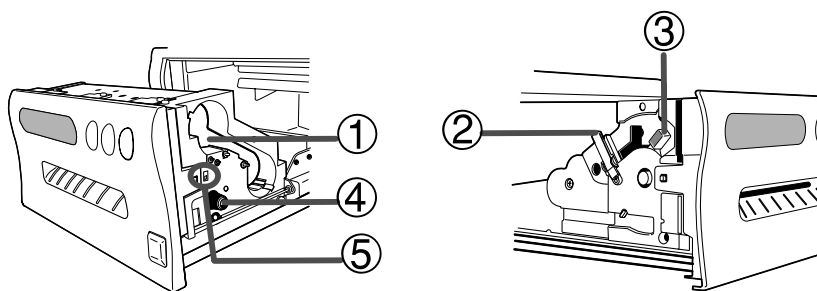
接続のしかた

準備

トラブル

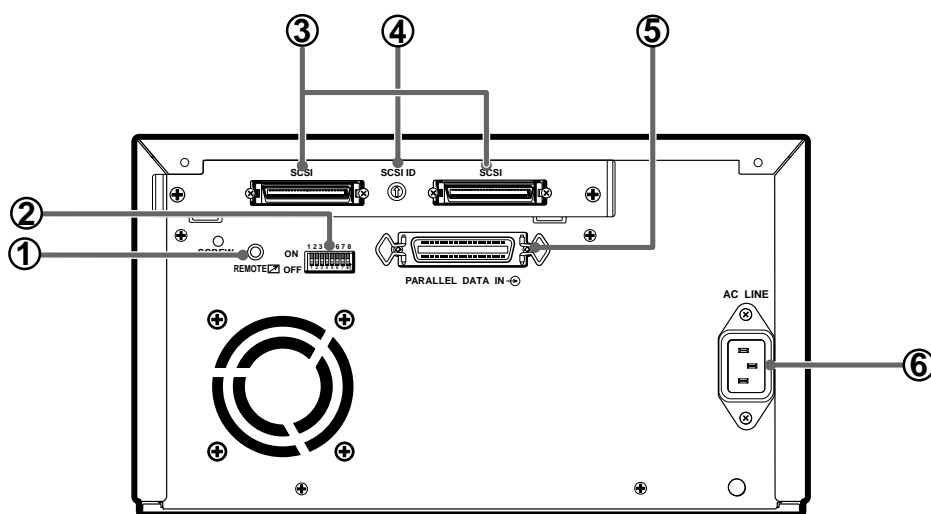
その他

プリンティングユニット内部



- ① インクカセット装着口
インクシートが入ったカセットを入れます。
- ② カセット固定レバー
カセットを取出すとき内側に押します。
- ③ 紙押さえノブ
プリント用紙を装着するときに上げ、下げします。
- ④ 紙送りノブ
プリント用紙を巻き戻すときに時計方向にまわします。
- ⑤ スライドスイッチ
本機の入力端子の切り替え(PARALLEL/OPTION(SCSI))をします。
出荷時はOPTION(SCSI)が選択されています。

後面



- リモート
① REMOTE端子
この端子は、サービスマン以外は使用しないでください。
- モード
② MODEスイッチ
本機の機能の設定を行います。
設定については13ページをごらんください。
- スカジー
③ SCSIポート
パソコンなどのSCSI規格の機器と接続します。
接続については18ページをごらんください。
- スカジー
④ SCSI IDスイッチ
SCSI IDを設定します。
設定については18ページをごらんください。
- パラレルデータイン
⑤ PARALLEL DATA IN端子
パソコンなどのパラレルデータを扱う機器と接続します。
ケーブルを使用しないときは、付属の保護キャップを取り付けてください。
設定については15～17ページをごらんください。
- ライン
⑥ AC LINEソケット
付属の電源コードを接続するソケットです。
確実に接続してください。

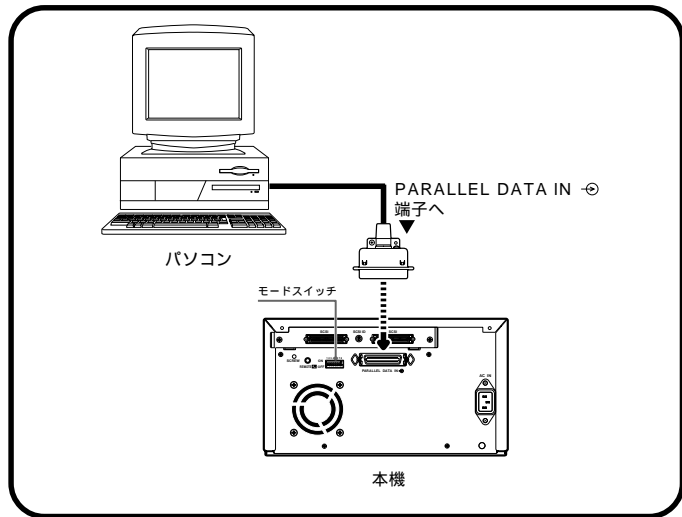
コンピュータとの接続

パラレルデータインターフェイスとの接続

パソコンと接続する（例）

本機とパソコンを以下のように接続します。

接続するときは、必ず各機器の電源を" OFF "にしてください。



① パラレルケーブルで本機とパソコンを接続します。

② プリンティングユニット内の切り替えスイッチをPARALLELにします。

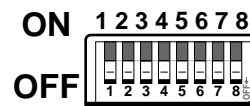
モードスイッチ (MODE) を設定する

本機後面のモードスイッチ (MODE) を設定します。

出荷時の設定は右図のようにすべてOFFになっています。

モードスイッチの1番、2番は使用するプリンタードライバーによって設定が必要です。

- ・ 同梱のプリンタードライバーを使用する場合は標準モードに設定してください。
- ・ CP700DA/CP700DSA用のプリンタードライバー(CPD-04/CPD-05)を使ってプリントする場合はコンパチブルモード1に設定してください。



1番	2番	6番	モード	詳細
OFF	OFF	OFF	標準モード	CP770D用プリンタードライバーを使ってプリントする場合
ON	OFF	OFF	コンパチブルモード1(ファインプリント)*	CP700DA/CP700DSA用プリンタードライバーを使ってプリントする場合 SCSI接続でHC-300, DS-300/330シリーズとダイレクトプリントする場合
ON	ON	OFF	コンパチブルモード1(スタンダードプリント)**	
ON	OFF	ON	コンパチブルモード2(ファインプリント)*	SCSI接続でHC-300Zシリーズとダイレクトプリントする場合 感熱紙を装着した場合、感熱紙プリントを行います。***
ON	ON	ON	コンパチブルモード2(スタンダードプリント)**	

* ファインプリント：画質優先で印画出力を行います。(印画速度は遅くなります。)

** スタンダードプリント：高速で印画出力を行います。

*** モードスイッチの6番がOFFの場合、ドライバーで感熱紙が選択されていないと感熱紙プリントはできません。

1, 2, 6番のモードスイッチは、上記以外の設定は行わないでください。

モードスイッチの4番でミラープリントの設定を行います。

OFF .. 標準のプリント

ON ミラー反転プリント

モードスイッチ3, 5, 7, 8番は設定をOFFにしてください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

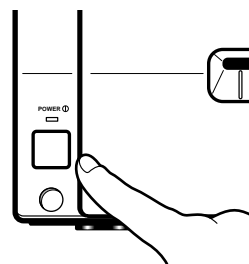
その他

コンピュータとの接続

オンライン状態にする

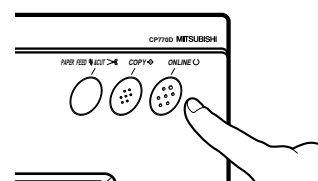
1 POWERボタンを押して、本機の電源を入れます。
電源が入るとPOWERボタンのランプが点灯します。

2 接続したパソコンの電源を入れます。



3 本機前面のオンラインボタン(ONLINE)を押し、ボタン上のランプを点灯させます。

ランプ点灯中は本機がオンライン状態になっています。



お知らせ

すでにON LINEボタン上のランプが点灯している場合は、このページの操作は不要です。
オンラインボタン上のランプは本機が以下の状態のとき、電源を入れると点灯します。

・ プリント用紙及びインクシートが装着されている。

+

・ プリンティングユニットが確実に押し込まれている。

+

・ データ受信可能状態

信号配置(信号 : Nibble)

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号	発信先	機能
1	19	HostClk	ホストコンピュータ	High
2~9	20~27	Unknown	ホストコンピュータ/本機	Unknown
10	28	PtrBusy	本機	HostBusy "Low"の時"Low"でデータを送信する。HostBusy "High"になるのを受けて"High"に戻る。
11	29	PtrBusy	本機	Data4, Data8 (MSB)
12		AckDataReq	本機	Data3, Data7
13		Xflag	本機	Data2, Data6
14		HostBusy	ホストコンピュータ	"High"でホストがBusyであることを示す。"Low"の時データ送信可能。
16・17		GND		アース
18		High	本機	PeripheralLogicHigh
19~30		GND		アース
31	16	$\overline{\text{Init}}$	ホストコンピュータ	本機へ転送中のデータをクリアする。(Lowパルス)パルス幅は受電端にて100 μ s以上必要
32		$\overline{\text{DataAvail}}$	本機	Data1(LSB), Data5
15・33~35		NC		未使用
36		1284 Active	ホストコンピュータ	IEEE1284の各モードを要求するとき"High"になる。

信号配置(信号：ECP)

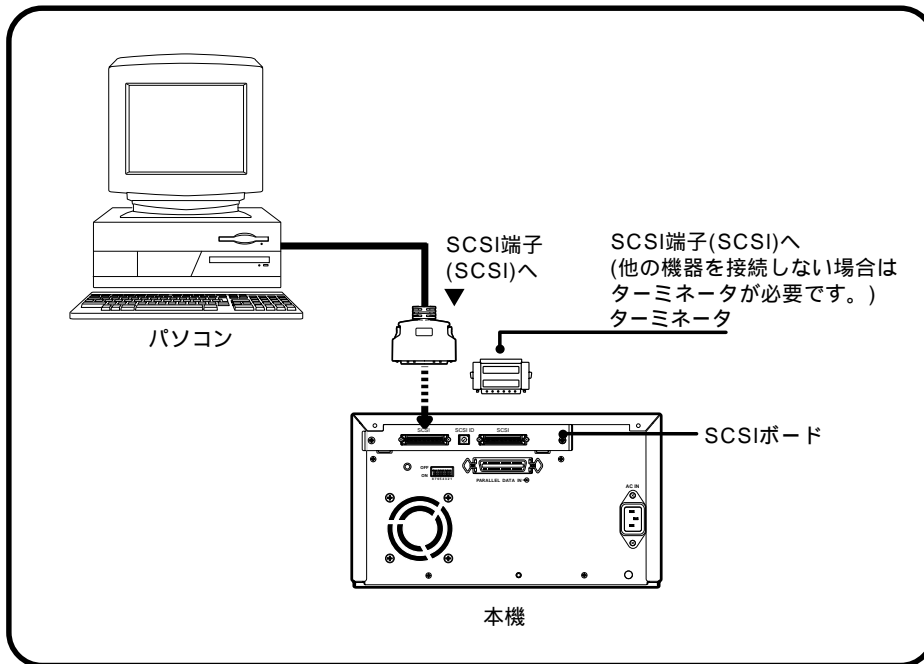
ピン番号	リターン側 ピン番号	信号	発信先	機能
1	19	$\overline{\text{HostClk}}$	ホストコンピュータ	フォワード転送時: PeriphAckが"Low"かつ読み込むべきデータがある場合"Low"となる。PeriphAckが"High"になるのを受けて"High"に戻る。
2	20	DATA1 (LSB)	ホストコンピュータ/本機	"High" はデータが1であり "Low" はデータが0となる。各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表わす。
3	21	DATA2	"	
4	22	DATA3	"	
5	23	DATA4	"	
6	24	DATA5	"	
7	25	DATA6	"	
8	26	DATA7	"	
9	27	DATA8 (MSB)	"	
10	28	PeriphClk	本機	リバース転送時: HostAck :Low:の時"Low"データを送信する。HostAck "High"を受けて"High"に戻る。
11	29	PeriphAck	本機	フォワード転送時: "High"で本機がBusy状態であることを示す。"Low"でデータ受信可能であることを示す。
12		$\overline{\text{AckReverse}}$	本機	High : フォワード転送(受信) Low : リバース転送(送信)
13		Xflag	本機	ECPモードをサポート中"High"にする。
14		HostAck	ホストコンピュータ	リバース転送時: "High"でホストがBusy状態であることを示す。"Low"でデータ送信可能であることを示す。
16・17		GND		アース
18		High	ホストコンピュータ	PeripheralLogicHigh
19~30		GND		アース
31	16	$\overline{\text{Reverse Request}}$	ホストコンピュータ	ホストより本機にデータ送信を要求する時"Low"になる。
32		$\overline{\text{Periph Request}}$	本機	本機より送信要求がある場合"Low"
15・33~35		NC		未使用
36		1284 Active	ホストコンピュータ	IEEE1284の各モードを要求する時"High"になる。

SCSI信号機器との接続

パソコンと接続する(例)

本機とパソコンを以下のように接続します。

接続するときは、必ず各機器の電源を"OFF"にしてください。



① SCSIケーブルで本機とパソコンを接続します。

② プリンティングユニット内の切り替えスイッチをOPTION(SCSI)にします。

SCSI IDスイッチを設定する

本機後面のSCSI IDスイッチを接続するパソコンに合わせて設定します。

工場出荷時、SCSI ID番号は5番に設定されています。

SCSI ID番号は"7"がご使用になるパソコン用、"0"がパソコンの内蔵ハードディスク用(Macintoshのみ)として、あらかじめ割り当てられています。

また、ご使用になるパソコンに本機以外のSCSI機器が接続されている場合は、本機のSCSI ID番号と、すでに設定されている他の機器のSCSI ID番号が重複しないように設定します。

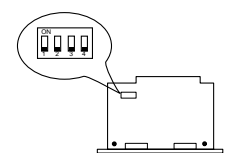
SCSI ID番号は、"1"から"6"の間(Macintoshの場合)または"0"から"6"の間(Windows®95/98の場合)から重複しないよう番号を割り当ててください。

お知らせ

ホストコンピュータ以外の機器と接続しない場合は、同梱のターミネータで空きSCSI端子を終端してください。

SCSIボード上のDIPスイッチについて

SCSIボード(右イラスト参照)上のDIPスイッチは、出荷時にすべてOFFに設定されています。使用に際しては設定を変更しないでください。



SCSIボードDIPスイッチ

ご使用前の準備

プリントする前に次の準備をしておきます。

- 1 プリンティングユニット固定ネジ、保護クッションを外します。(下記)
- 2 プリント用紙とインクカセットを入れます。(20～22ページ)

プリント用紙とインクシートの種類

本機でプリントされる場合は必ず31ページ「別売品」に記載の専用品をお使いください。

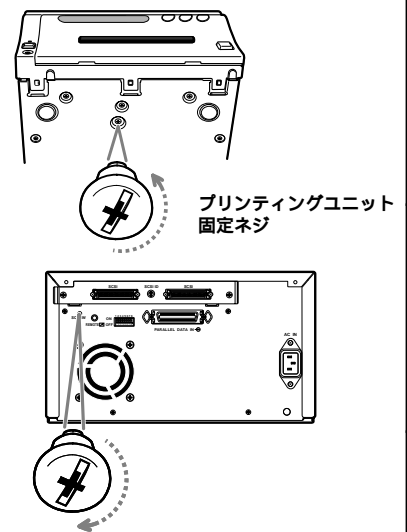
プリンティングユニット固定ねじ・保護クッションのはずしかた

本機内部には輸送用の保護クッションが入っています。また、プリンティングユニットがねじで固定されていますので、本機をご使用前に次の手順で取りはずしてください。

■ プリンティングユニット固定ネジの外しかた

プリンティングユニット固定ネジは本機の底面にあります。

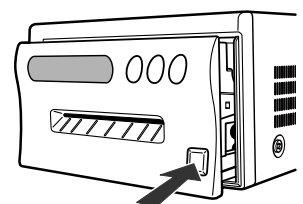
- 1 ドライバーやコインなどで、プリンティングユニット固定ねじを取り外します。
- 2 取り外した固定ねじを、本機後面の穴へ固定します。
取りはずした固定ネジは本機を輸送する場合にもう一度、取付けますので、右図のように本機後面に固定し、保管しておいてください。



■ 保護クッションの外しかた

安全のため電源プラグはコンセントから抜いてください。

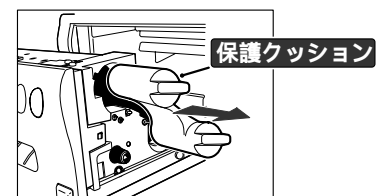
- 1 前面のOPENボタンを押します。
プリンティングユニットが押し出されます。



お知らせ

ヘッドには触れないようにしてください。
ヘッドにゴミや指紋が付くと印画不良の原因となります。

- 2 インクシート装着口内の保護クッションを右側から取り外します。
取り外した保護クッションは本機を輸送する場合にもう一度、取付けますので保管しておいてください。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

ご使用前の準備

プリント用紙の入れかた

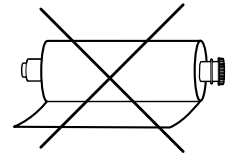
モノクロ感熱紙を使用する場合には、まず、次の準備をします。

- 1 付属のアタッチメントを感熱紙の両側に取り付けます。
ギアの付いている部分を右側にします。



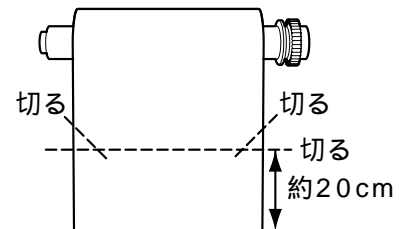
お知らせ
ギアを取り付ける方向を間違えないようご注意ください。

- 2 感熱紙を約20cm引き出し、切り取ります。
シールの糊、ごみや指紋の付いた部分を切り取ります。



- 3 用紙の両先端を切り取ります。

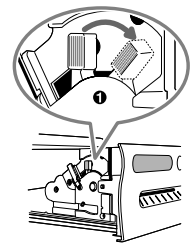
以上で感熱紙を入れる準備は完了です。



お知らせ
プリンタードライバーで感熱紙を選択しているときにインクシートを装着すると、シートカートリッジエラーとなります。このエラーはデータ転送時とプリント動作開始時に表示されます。

■ プリント用紙の入れかた

- 1 プリンティングユニット側面の紙押えノブを右図、矢印の方向へ動かします。



- ② プリント用紙を図の位置に入れます。
ギアの付いている部分を右側にします。

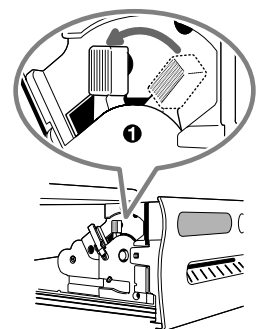
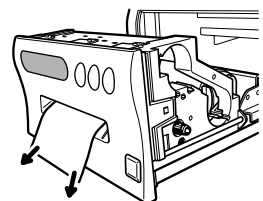
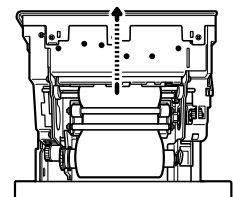
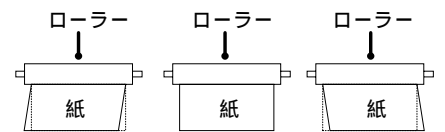
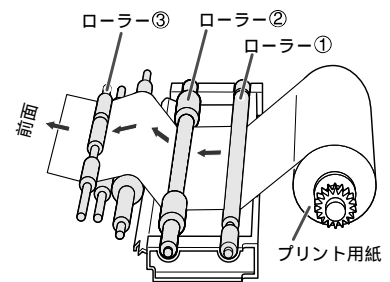
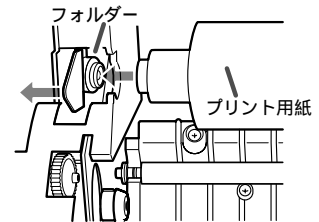
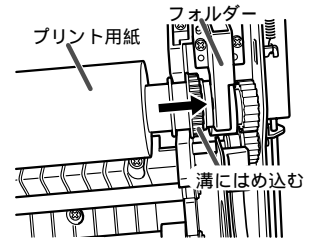
左側に入れる場合は本体側のフォルダーを左へ押して、プリント用紙ローラーをはめ込みます。

- ③ ローラー①、②の下のすき間に、順にプリント用紙を通します。

- ④ プリント用紙の先端をローラー③の下に差し込みます。
このとき、プリント用紙が斜めに入らないようにします。

- ⑤ プリント出口からプリント用紙が出てくるまで用紙を手で送り出します。

- ⑥ プリント用紙の両端を手で引っ張り、たるみを取ります。
⑦ プリンティングユニット側面の紙押えノブを矢印の方向へ動かします。



お知らせ

プリント用紙装着時に用紙を引き出し過ぎると ALARM インジケータが点滅し、エラーとなる場合があります。この場合は本機前面の PAPER FEED & CUT ボタンを押してください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

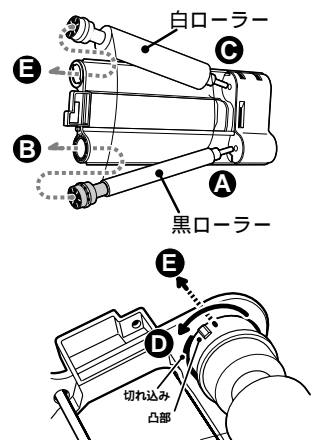
インクシートの入れかた（カラープリント）

お知らせ
感熱紙にプリントするときは、インクシートは入れないでください。

■ インクシートの組込み

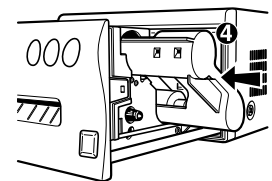
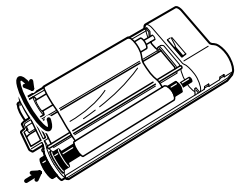
本機にインクカセットを装着する前に、別売のインクシートをインクカセットに組込んでください。

- 1 インクシートの黒いローラーをインクカセットに差し込みます。①②
- 2 白いローラーの細い軸をインクカセットに差し込みます。③
- 3 白いローラーの太い軸をインクカセットに差し込みます。④⑤
⑤ではローラーを回転させてローラー側の凸部をカセット側の切れ込みにあわせませす。凸部を切れ込みに通すとローラーを取付けることができます。



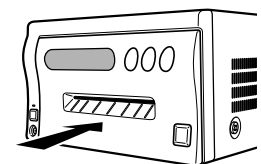
■ インクカセットの装着

- 1 インクシートのたるみを取ります。
黒いローラーを押さえて、白いローラーを回します。
- 2 インクシートが入ったインクカセットを収納部に入れます。
カバーが付いている方を手前にして、本体に入れます。カチッと音がするまで押し込みます。
カセット交換などでカセットを取り出すときは、「カセット固定レバー」を押してロックを解除してください。（12ページ参照）



■ プリンティングユニットを収納する

- 1 プリンティングユニットをカチッと音がするまで押し込みます。
- 2 本機の電源プラグをコンセントに差した後、前面のPOWERボタンを押して電源を入れます。
- 3 本機前面のON LINEボタンを押して、ボタン上のランプを消灯させます。
- 4 PAPER FEED & CUTボタンを押します。
プリント用紙が約10cm送り出された後、裁断されます。
- 5 4項をもう1～2回行います。
（この動作は初期化動作で、プリント用紙装着時に指紋やごみが付いた部分を取り除くためのものです。またプリント準備のために、機械的な位置が初期状態に戻ります。）
- 6 ON LINEボタンを押して、ボタン上のランプを点灯させます。



お知らせ
紙送り操作は、2～3回程度にしてください。プリント用紙は余裕を持って準備されていますが、繰り返し紙送りすると、所定の枚数分のプリント（31ページ参照）ができなくなる場合があります。

プリント用紙とインクカセットの装着は以上で完了です。

プリント用紙の取扱い

■ プリント前の取扱い

プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。また、プリント用紙交換直後のプリント画2～3枚は、手のゴミや脂等により部分的にプリントできないことがあります。(20～21ページ参照)

本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙詰まりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。

プリント中にプリント用紙やインクシートがなくなった場合はプリント動作が停止し、前面のPAPERまたはSHEETエラーインジケータが点灯しますので、新しいインクシートとプリント用紙をセットしてください。

プリント用紙装着時に紙送り操作を繰り返すと、所定の枚数分のプリントできなくなる場合があります。

■ プリント後の取扱い

プリントされた紙を湿った手で持つと、変色することがあります。

紙が揮発性有機溶剤(アルコール・エステル・ケトン類など)を吸収すると、画像が退色します。セロテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。

プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください、化学反応で脱色します。

■ プリント用紙の保管

プリント用紙は直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5～30、湿度20%～60%RHの冷暗所で保管してください。

お知らせ

プリント用紙を本機に装着した状態で本機を放置していると、プリントを行った時に、最初に排出されたプリント用紙が曲がっている場合があります。

これは、本機内部のローラーでプリント用紙が曲げられていたための現象ですので、故障ではありません。

安全・
お願い

各部の
名称

接続の
しかた

準備

トラ
ブル

その他

プリンタードライバーのインストールについて

接続したパーソナルコンピュータのデータを本機でプリントするためには、プリンタードライバーが必要です。

本機にはWindows®またはWindows NT®が動作するコンピュータ用と、Macintosh™ コンピュータ用のプリンタードライバーが同梱されています。

プリンタードライバー名	動作環境
Windows®用 プリンタードライバー	Microsoft® Windows® 95、Windows®98日本語版上で動作可能
Windows NT®用 プリンタードライバー	Microsoft® Windows NT® 4.0日本語版上で動作可能
Macintosh™用 プリンタードライバー	Apple Macintosh™ 漢字Talk7.5 ~ 8.5.1のシステムソフトウェアで動作可能

プリンタードライバーのインストール方法等、くわしくは同梱のフロッピーディスクに入っているRead meをごらんください。

Macintosh™ はアップルコンピューター社の商標です。




Microsoft® Windows®、Windows NT®は米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

トラブルシューティング

前面インジケータの表示と処置

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は本機前面のインジケータが、点灯または点滅しエラーを知らせます。

この場合は下表を参考に処置を行ってください。

インジケータとエラーの意味	原因	処置のしかた
 “SHEET/PAPER” が点灯 プリント用紙なし	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンティングユニットが引き出された状態でプリントしようとしている。 ・インクシートが装着されていない。*注:1 ・プリント用紙が装着されていない。 ・プリント用紙の装着方法が不完全。 ・プリント中にインクシートまたはプリント用紙が終了した。*注:2 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント用紙を正しく装着してください。20～21ページをごらんください。 ・シートカートリッジを装着してください。22ページをごらんください。 ・新しいインクシートを装着してください。22ページをごらんください。
 ● “ALARM” が点滅 オーバーヒート	<ul style="list-style-type: none"> ・サーマルヘッドの温度が高くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エラーメッセージが消えるまでしばらくお待ちください。*注:3
 “ALARM” が点灯 紙詰まり	<ul style="list-style-type: none"> ・紙詰まりが発生した。 ・その他のエラー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙詰まりの処置 26 ページをごらんの上、処置してください。 ・ON LINEボタン上のランプが消灯していることを確かめた上、PAPER FEED & CUTボタンを押してください。この処置を1度行っても症状が改善されない場合は、販売店にご相談ください。*注:4

*注:1 データ転送終了後、プリント動作開始前にエラーを表示します。

*注:2 Lサイズプリントの場合は、プリントを未完了で終了しますので、ご注意ください。

*注:3 連続プリントを設定中の場合は、エラーメッセージが消えた後、継続してプリントを再開します。

*注:4 プリンティングユニットが引き出された状態では、PAPER FEED & CUTボタンは無効となります。プリンティングユニットが確実に押し込まれていることを確かめた上、ボタンを押してください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

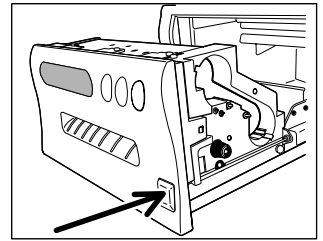
準備

トラブル

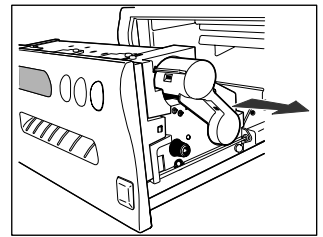
その他

紙づまりの処置

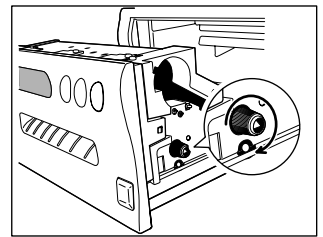
- 1 前面のOPENボタンを押して、プリンティングユニットを引き出します。
OPENボタンを押しても動かないときは、一度電源を切ってから、もう一度OPENボタンを押してください。



- 2 インクカセットを外します。
カセット固定レバーを内側に押し込んでインクカセットのロックをはずしてください。(12ページ参照)

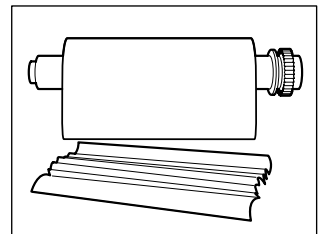


- 3 プリンティングユニット右側のノブを時計方向に回します。
プリント用紙を完全に巻き取ります。



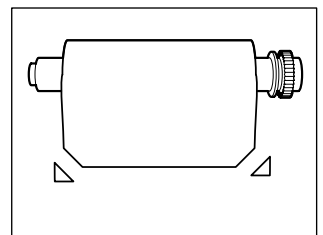
- 4 プリント用紙を取りはずします。

- 5 プリント用紙の、しわになっている等の不良部分をはさみで切り取ります。



- 6 プリント用紙の両先端を切り取ります。

- 7 プリント用紙を装着します。(20 ~ 22ページ参照)



サービスをお申しつけの前に

このようなときは以下の表を参考にもう一度点検してください。

症 状	原 因 / 処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 保護回路が働いている場合がありますので、電源を"OFF"にして約2分間お待ちください。その後電源を"ON"にしてください。
プリントできない	プリントする画像をデータ転送していますか？ 再確認してください。 プリント用紙、またはインクシートが終了していませんか？ 再確認してください。 プリンティングユニットは確実に押し込まれていますか？ プリンティングユニットを正しくセットしてください。
用紙いっぱいにはプリントできない	サイズに合った画像データを転送していますか？ Lサイズ用の紙にSサイズの画像データを印画していませんか？
画像を転送できない	ON LINEスイッチランプが点灯していますか？ プリンティングユニット内のスライドスイッチは正しく設定されていますか？
COPYボタンが効かない	画像を転送していますか？ ON LINEスイッチランプが点灯していませんか？ ON LINEスイッチランプを消灯させて下さい。
ホストコンピュータがプリンタを認識しない	SCSI IDスイッチの設定が他の機器と重なっていませんか？ SCSI IDスイッチを確認してください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

クリーニングについて

本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。

準備するもの

アルコール(イソプロピルアルコール)

ティッシュペーパー(半分ずつ4回ほど折り、折った面を清掃面にします。)

綿棒

専用クリーニングキット(別売)

その他、別売のクリーナーペンがあります。

別売品についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

クリーニングの前に必ず電源をOFFにしてください。

1 OPENボタンを押して、プリンティングユニットを引き出します。

2 インクカセットとプリント用紙を取り出します。

3 インクシートセンサを拭きます。

右の図の矢印で示されている部分を拭きます。

綿棒などにアルコールを少量しみこませて軽くホコリをふき取ってください。

4 インクシート反射板を拭きます。

金属反射板部分を拭きます。

ティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいにふき取ってください。

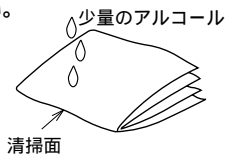
お知らせ
反射板固定ネジは接着剤で固定されています。この接着剤はふきとらないでください。

5 ヘッドを拭きます。

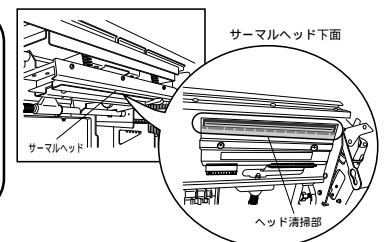
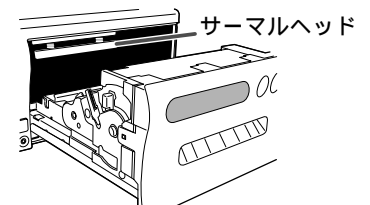
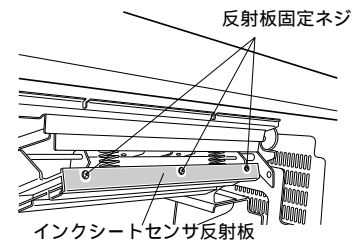
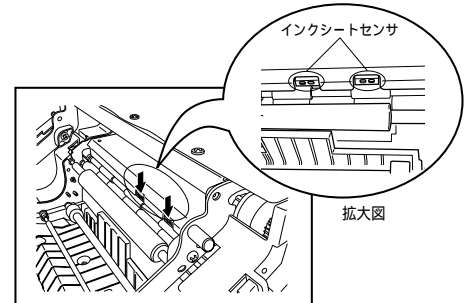
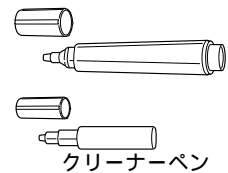
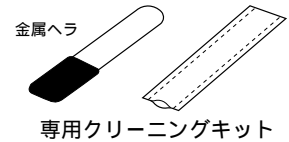
サーマルヘッド下面にある、発熱体部分を拭きます。

ヘッド清掃部をティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいにふき取ってください。

お知らせ
サーマルヘッドに傷をつけないようご注意ください。
クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。
プリント直後のサーマルヘッドは高温になっている場合がありますので、クリーニングする場合はヘッドの温度が下がるまでしばらくお待ちください。



ティッシュペーパーの折り方



以下の箇所のクリーニングはプリント用紙10ロール使用ごとに実施してください。
はじめに電源をOFFにしてください。

1 紙ガイドシャフト

長期間ご使用になると、シャフトの段付き部にシール紙の粘着剤が付着します。
ティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませ軽くていねいにふき取ってください。

お知らせ

表面の黒色はテフロンコーティングです。金属物などでこすらないようにしてください。

2 紙後端センサ

綿棒などにアルコールを少量しみこませて軽くほこりをふき取ってください。

3 ゴムローラ

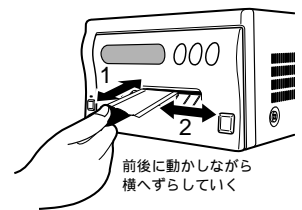
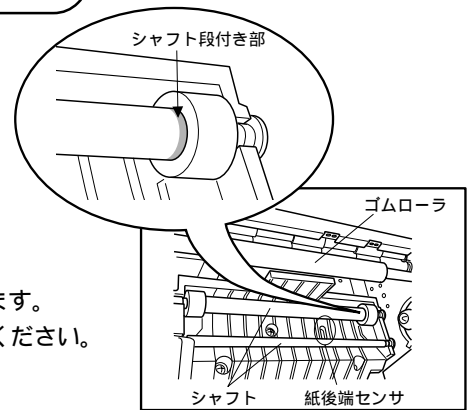
長期間ご使用になると、ゴムローラ部にシール紙の粘着剤やほこり等が付着します。
ティッシュペーパー等にアルコールを少量しみこませ軽くていねいにふき取ってください。

4 排紙口部分

内部の紙ガイドにシール紙の粘着剤が付着したり、排紙口からほこりがたまったりします。
図に示すように別売の専用クリーニングキットをご使用になり、内部の清掃を行ってください。

お知らせ

排紙口を清掃するときはアルコールはご使用にならないでください。



安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

仕様・別売品

仕様

種類	デジタルカラープリンタ		
形名	CP770D		
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式	3色面順次印画（イエロー、マゼンダ、シアン）	
印画品質	プリント画素数	Sサイズ最大	1,344 × 960pixel
	325PPI	Lサイズ最大	1,676 × 1,344pixel
		LLサイズ最大	1,920 × 1,344pixel
			PPI : Pixel Per Inch
階調数	256階調（8ビット 約1,670万色）		
印画時間	約19秒 / 画面（Sサイズ/表面保護コーティングなし） 約27秒 / 画面（Lサイズ/表面保護コーティングなし） 約41秒 / 画面（LLサイズ/表面保護コーティングあり）（モードにより印画時間は変わります。）		
印画シート	専用インクシート方式		
プリント用紙	専用ロール紙	Sサイズ110mm × 107mm	印画サイズ
			Sサイズ 99.8mm × 75mm
			S-wideサイズ 104.8mm × 75mm
	専用ロール紙	Lサイズ162mm × 110mm	印画サイズ
			Lサイズ 130mm × 99.8mm
			L-wideサイズ 130mm × 104.8mm
	専用ロール紙	LLサイズ182mm × 110mm	印画サイズ
			LLサイズ 150mm × 99.8mm
			LL-wideサイズ 150mm × 104.8mm
給紙方法	自動給紙		
入力端子	パラレルデータ入力端子（36ピン）	マイクロミニピンタイプ(50ピン)	
電源	AC100V 50 / 60Hz		
消費電流	印画時 1.5A（常温）（待機時0.2A）		
使用環境条件	温度5 ~ 40（プリカットシール紙使用時 5 ~ 35） 湿度20% ~ 80%（結露なし）		
	設置条件 動作姿勢水平 ± 5°（以内）		
外形寸法	幅280mm × 高さ150mm × 奥行398mm		
質量	13.5kg		
付属品	電源コード（1本）、ACプラグ2P変換アダプタ（1個）、インクカセット（1個）、脚（4個）、取扱説明書（1冊）、「プリント用紙、インクシートの入れ方」シート（1枚）、SCSIターミネータ（1個）、プリンタードライバー（フロッピーディスク2枚）、感熱紙取付け用アタッチメント（1組）		

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

別売品

■ インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PK700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PK700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

■ プリント用紙

品名	プリント用紙サイズ	プリント数	用途
CK700	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約130枚	カラープリント用
SCT-K65H	S/Lサイズ兼用	Sサイズ約200枚 Lサイズ約125枚	モノクロ感熱紙プリント用

■ プリント用紙+インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
CK700S4P	Sサイズ	110枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700L4P	Lサイズ	75枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700LL4P	LLサイズ	65枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK700SC	Sサイズ	200枚	カラーシールプリント用
CK700LC	Lサイズ	130枚	カラーシールプリント用
CK710SPC	Sサイズ	200枚	カラー16画面プリカットシールプリント用
CK710LPC	Lサイズ	130枚	カラー16画面プリカットシールプリント用
CK714SPC	Sサイズ	200枚	カラー4画面プリカットシールプリント用

■ インクシート+カセット(インクカセットにシートが組み込まれています)

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
PKC700S	Sサイズ	200枚	カラープリント用
PKC700L	Lサイズ	130枚	カラープリント用

— ワイドプリント時のご注意 —

用紙設定でワイドモード(S-wide, L-wide, LL-wide)を選択した場合、プリント用紙の装着状態によっては画像の端が切れることがあります。この場合は、PAPER FEED & CUT ボタンを2,3回押してください。
また、左右の余白が均一にならないことがあります。これは不具合ではありません。

— L(-WIDE) / LL(-WIDE)プリント時のご注意 —

以下のように設定すると、プリンタはイエローを印画後停止し、SHEET/PAPERランプが点灯します。この場合、プリンタードライバーを正しい用紙設定に変更し、OPEN ボタンを押してプリンティングユニットを一度引き出してからご使用ください。

1. インクシートLLサイズを使い、プリンタードライバーの用紙設定でLL、LL-ワイド以外のサイズを選択してプリントした場合
プリンタードライバーの用紙設定をLLかLL-ワイドに設定してください。
2. インクシートLサイズを使い、プリンタードライバーの用紙設定でLL、LL-ワイドサイズを選択してプリントした場合
プリンタードライバーの用紙設定をLL、LL-ワイド以外に設定してください。

安全・お願い

各部の名称

接続のしかた

準備

トラブル

その他

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカラープリンタの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「修理を依頼する前に」をよくごらんになって、今一度お調べください。

それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- ・修理の際には、保証書をご提示ください。
- ・保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

修理料金は

- ・修理技術料 + 部品代（+ 出張料）で構成されています。

INTERNET INFORMATION この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。

<http://www.vcp.melco.co.jp/>

技術的なお問い合わせは三菱カラープリンタテクニカルセンターへ。



0120-710-391 (フリーダイヤル)

受付時間/AM9:00 ~ 12:00・PM1:00 ~ 5:00
(土、日、祭日を除く)



075-325-4195



pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検

長年ご使用のデジタルカラープリンタの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような症状はありませんか

電源コード、プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源スイッチを入れても、表示が出ない。
その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルカラープリンタの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所1番地

871C959D4